

SRE

SECRETARÍA DE RELACIONES
EXTERIORES



プレスリリース 083/19

春のメキシカンリサイタル

2019年3月26日、東京

3人のメキシコ人歌手ーホセ・アダン・ペレス氏（バリトン歌手）、カルロス・オスーナ氏（テノール歌手）、オラリア・カストロ氏（メゾソプラノ歌手）ーと、ピアニストの森川実千代氏、そしてゲストアーティストに日本人ギタリストのカチート寺澤氏を招いた「春のメキシカンリサイタル」が在日メキシコ大使館大使公邸で開催され、国内の芸術・文化関係者らを含む 150 人以上の観客が集まった。

第 1 部では『カルメン』、『港の居酒屋』、『ドン・ジョヴァンニ』、『セビリアの理髪師』といったオペラ・サルスエラのアリアが、第 2 部ではマリア・グレバー、アルバロ・カリージョ、アグスティン・ララ、トマス・メンデス、アルフォンソ・エスパルサ・オテオなどのメキシコ人作曲家の楽曲が演奏された。観客は演奏に聞き惚れ、スタンディングオベーションでメキシコ人アーティストらに賞賛を送った。

SRE

SECRETARÍA DE RELACIONES
EXTERIORES



ホセ・アダン・ペレス氏は、メキシコを代表するバリトン歌手であり、プラシド・ドミンゴ主宰の LA オペラ/ヤングアーティストプログラムで学んだ。2017年、『フィガロの結婚』を脚色しブロードウェイで公演された作品『¡Figaro! (90210)』において主演を果たし、昨年末にはメキシコ国立オペラ共演のシュトラウス作『こうもり』で主役を演じた。

SRE

SECRETARÍA DE RELACIONES
EXTERIORES



カルロス・オサーナ氏は現在ウィーン国立歌劇の成員として、『椿姫』、『ロメオとジュリエット』など多数の作品に出演しており、また、『蝶々夫人』、『ラ・ボエーム』、『愛の妙薬』などのオペラで主演を果たしている。



オラリア・カストロ氏はシナロア自治大学、メキシコ国立高等音楽院で学んだ。

『カルメン』で主演し好評を博し、現在はサルバドル・アルバラドにある文化の家の学長を務める。

SRE

SECRETARÍA DE RELACIONES
EXTERIORES



森川実千代氏は長野県出身。マンハッタン音楽学校で修士課程を修める。スペイン、アメリカ、キューバ、メキシコなどで数多くの賞を受賞。ミチョアカン州サモラの **La Gran Familia** 孤児院でボランティア音楽教師として活動した経験を持つ。
